**第３８回観察会　2006年５月11日(木) 12:05～12:55　曇り**

**テーマ『植物がつくる謎の部屋―ダニ室をのぞいてみよう』**

**☆ガイドのレポート**

植物はさまざまな生物との関わり合いから、いろいろ特殊な器官を発達させています。動物に食べられないようトゲや毛で武装したり、美しい花を作って虫に花粉を運んでもらったり。これらの器官の多くは、研究者のみならず一般の人にもよく知られているものです。しかし、肉眼では見つけにくい器官については、よほど注意深い人でないと見逃してしまうのではないでしょうか。今回取り上げたダニ室もそんな器官です。ダニ室を知っているか、会の最初に参加者に聞いてみても、ほとんどどなたも知らないとのことでした。

ダニ室というのは、葉の脈と脈の間にできる、小さな部屋のような器官です。虫こぶと違って植物が自前で作っており、ダニがいることが多いため「ダニ室」とか「ダニ部屋」と呼ばれています。でも、何のために作っているのか詳しくは分かっていません。

多くの研究者は、ダニ室を持つ植物が、ダニ室に肉食や菌食のダニを住まわせて、葉の掃除をしてもらっていると考えています。しかしクスノキのダニ室では、植物に寄生すると思われるダニがよく見られます。そこで私は現在、クスノキを中心に、ダニ室の形や中の生物について研究を始めています。今回の観察会でも、このダニ室をみんなで覗いてみることにしたのでした。

当日は、朝までの雨がやむかどうか、心配な雲行きでした。しかし、会の始まる頃には天気も回復し、やれやれと胸をなで下ろしました。何しろルーペを使って葉を見ようと思っていたものですから、雨では大弱りだったのです。

ということで、ダニ室について簡単にお話したあとは、ルーペの見方をみなさんで練習しました。ダニ室はともかく、ルーペの見方を確認できたのは、みなさんのお役に立てたのではないでしょうか。

みんなでルーペを手にすると、さっそく、園の入り口付近にあるサンゴジュでダニ室を観察しました。しかし、なかなか見つけられないと嘆く方も。そこでヤマアジサイの毛束型ダニ室を見てもらい、これなら肉眼でわかると言って貰い、ここでまたホッと胸をなで下ろしました。

その後は、園の奥にあるクスノキの大木の下へ行き、ちょうど落葉したばかりのクスノキの葉を使って、ダニ室内に見られるダニの話をしました。すぐ近くにはイスノキの虫こぶもあり、虫こぶとダニ室の違いについて、口を酸っぱくするほど訴えさせてもらいました。おかげで、みなさんこの差についてはよく理解してくださったようです。

ここで一応会は解散しましたが、なんとなく数人の参加者の方とイロハモミジの下へ行き、また毛束型のダニ室の観察。そして最後にヤマブキのダニ室を見て終わりました。

今回は、ダニ室に興味があってわざわざ大阪から来てくださった方、はたまたダニ室とは始めて聞いた、面白い、と言ってくださったご近所の方など、みなさん熱心でとてもやりがいがありました。残念だったのは、ダニがルーペでも小さすぎ、皆さんに見せることができなかったこと。植物園がいつか多くの人の学びの場になって、外にある木々からダニ室をもちよって中のダニを顕微鏡で見る、なんて実習ができたらいいだろうな、と一人密かに思ってしまいました。スタッフのみなさま、参加者のみなさま、楽しい会をありがとうございました。

ガイド：西田佐知子さん（名古屋大学博物館）

[資料](http://ja3yaq.ampr.org/~bgarden/kansatu/kansatu38shiryo01.pdf)

**☆植物フェノロジーリスト**

開花：
コウホネ、ホソバオモダカ、キショウブ、アヤメ、ウマノアシガタ、カンサイタンポポ、セイヨウタンポポ(在来タンポポとの雑種である可能性大)、ムラサキカタバミ、ムラサキサギゴケ、ハルジオン、ヒレハリソウ、ムラサキツユクサ、ユウスゲ、シャクヤク、ニチニチソウ（以上、草本）
キンギンボク、アリマグミ、カマツカ、イワガサ、オオカナメモチ、ガクウツギ、アブラギリ、フジ、ツバキ、ショウキウツギ、マグワ、ウツギ、クスノキ、クロモジ（以上、木本）
結実：
ヤブニンジン、ヒイラギナンテン、ニワトコ、カンサイタンポポ、ロウアガキ（ツクバネガキ）、マグワ、サクラ

レポート：大石高典さん(京都大学理学研究科生物科学専攻動物学系)

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 植物観察への新しい視野を頂きました。学外のかた小吹和男
* 現在昆虫の研究室にいるのに、ダニ室なんて知りませんでした。たった1時間ですが、とても刺激になりました。もっと植物の勉強をしたいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大農学部昆虫のかた）
* 植物を改めて見る眼が開かれた。　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた　徳光尋夫さん）
* ダニ室の存在を今まで知らなかったので、驚いた。お店で売っている料理用の月桂樹にはダニ室があるのだろうかと不思議に思った。（学内のかた）
* くすの木の実態に感動してむせび泣きました。植物大好き！　　　　（学内のかた）
* くすの木不思議にびっくりしました。　　　　　　　　　　　　　（京大文学部西洋古典のかた）
* ダニ室ではダニは友人を呼んだりするんですか？　　　　　　　（京大文学部西洋古典のかた）
* 自分の専攻分野に近いテーマだったので、興味深く参加できました。（学内のかた　仲摩朋葉さん）
* 驚きの体験でした。菌食性、捕食性ダニの特性などもう少し知りたかったです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 虫こぶしか知らなかったので、ダニ室には驚きました。が、ルーペの見方を憶えて嬉しかったです。もうひとつ、いすの木の黄色の実は初めて見つけてカメラを持ってきたら良かったと思いました。とても楽しかったので次も参加します。　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 普段なにげなく見ている葉、下ばえを改めてじっくり見直しました。ビックリ、なんて美しいのでしょうか。　　　　　　　　　　　　（近所のかた　中村佳子さん）
* 以前からダニ室は大変興味を持っているものでした。今日は、実際に数種の植物の葉を観察しながら講義を受けることが出来て勉強になりました。どのようにしてダニ室が形成されていくのか、他の生物との相互関係など続けて学び続けていきたいと考えています。大変貴重なお話をありがとうございました。　　　　　　　　　　　（大阪府立大学生命環境科学部２回生　鷲谷寧子さん）
* 楠木にフシダニには感動しました。ダニ室、虫こぶの違いを知りました。知ることの幸せ、本当に有難うございました。　　　　　　　（近所のかた）
* ダニ室の存在に気づけてよかったです。ダニ室が存在するはっきりとした理由が気になるので、今後注目したいです。　　　　　　　（京大農学部のかた）
* 虫こぶとダニ室の違いをはっきり認識できた。ガイドの方の説明が分かりやすかった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大農学部のかた）
* ダニ室の存在を初めて知りました。ダニも見てみたかったです。　（京大農学部のかた）
* ダニ室は虫こぶとは大分違うものだということがよく分かりました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大農学部のかた）
* ダニ室はじめて知りました。ルーペで見れてよく分かりました。　（近所のかた）
* ひときは小さな世界、ルーペがよくみえた。その視点で植物園を歩いていると全くどこにいるのかわからなくなる程ワンダービューでした。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた　山下信子さん）
* はじめてこさせてもらいました。とても面白くて勉強になりました。また来たいと思います。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大農学部のかた）
* 植物園の植物の多様さを感じた。自然のミクロ／マクロさはほとんど人知が及ばない。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学内のかた）
* 観察会には出席しだして動植物に対してものの見方が変化していってるみたいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* ダニについて知りませんでした。色々の植物のダニ室を研究致します。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* たのしい観察会でした。毎回新しいテーマでよい学習をさせてもらっています。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* この種の研究をする人がいるのがおもしろい。　　　　　　　　　　　　（京大文学研究科教員のかた）
* 天気予報が雨だったので、天気が心配でしたが幸いにも雨が上がり、じっくりダニ部屋の観察ができたので良かった。ガイドの方から、ルーペの使い方について丁寧なアドバイスがあったのも良かった。これから葉をみるときの楽しみが増えました。　　　　　　　　　（京大理学部動物院生　大石高典さん）